



菅田中学校だより

11月号

創造の意気ここにあり

令和3年10月28日

学校長 遠藤まり

学校ホームページ

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>



これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて ～菅田中学校のGIGAスクールの取組～

副校長 三藤 敏樹

平成29年に告示された学習指導要領が、中学校では今年度から全面実施になっています。1学期の面談資料で、各教科の「観点別学習状況の評価」が、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に変更されたのはそのためです。

今回の学習指導要領の改訂では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しています。この「主体的・対話的で深い学び」について、文部科学省の「学習指導要領解説」では、次のように説明しています。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

このような学習を通して、これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指しているわけです。

私は平成26年に、横浜に本社があるグローバル企業である自動車会社に1年間研修で出向していました。その時に、企業における会議の進め方を体験して、「なるほど」と思ったことがいくつかありました。

その会社では会議室だけでなく社内の至るところにホワイトボードと大きめの付箋紙が用意されていて、正式な会議はもちろんちょっとした打合せをするときも、ホワイトボードに言葉や図を書いたり、事実や意見を付箋紙にメモしてホワイトボードに貼り付け、さらにそれを並べ替えて議論を整理したりしていました。これは議論の内容を「見える化」するための工夫で（社員の方は「議論が『空中戦』になるのを防ぐためです」と言っていました）、さらにそれをデジカメで撮影してeメールで送信すれば、いちいち「議事録」をまとめなくても会議の記録が共有できるということでした。

また、会議のルールとして、「積極的に『聴く』『話す』『書く』『行動する』『いかに～するか』など建設的な表現活用」などが定められていて、「こういうことを行う力が今世界で求められているのか」ということを実感した経験でした。

このような方法は、菅田中の授業にも取り入れられています。たとえば、3年生の国語で、森鷗外の『高瀬舟』を読んで意見交換を行い、感じたこと・考えたことをGoogleフォーム入力し、時間や手間をあまりかけずにクラス全員で共有することができました。また、理科では単元の学習の中で疑問に思ったことや気付いたことについて自分で課題を設定し、教室での学習が終わった後に学校図書館やインターネットを使って調べ学習をして、レポートにまとめる学習を行っています。このような「各教科等における言語活動の充実」を図る学習は、前回の学習指導要領で大きく取り入れられ、今回の改訂も引き続き重視されています。「主体的に学習に取り組む態度」をもって「知識・技能」を習得し、それらを活用して「思考・判断・表現」する力を身につけることが求められています。



10月5日（火）からは、朝の学活の後の10分間、AIが生徒学習をサポートするアプリ「Qubena」「Monoxer」を活用した学習を実施しています。当初は英語、続いて数学で、生徒一人ひとりの進捗状況に合わせて出題されるドリルに取り組みます。一定期間学習を継続した後確認のテスト行いますが、進捗の状況がテストの成果につながっていることが明らかになってきています。

GIGAスクール構想によって「1人1台端末」やネットワーク環境が整備され、様々な新しい学び方が実現しています。それらについても研究しながら、菅田中学校は「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業の改善を進めています。





家庭科の授業で食分野を学習中の2年生にアンケートを取りました。秋の果物で、思い浮かぶもの1位は柿でしたが、好きな秋の果物1位は梨、2位、ぶどう3位はリンゴでした。柿は嫌いな果物でも食わず嫌いのいちじくとほぼ同じ2位でした。柿、何で不人気ですかね？私も苦手でしたが、ある時を境に大好きになりました。そのきっかけになった目からうろこの柿ジャムレシピをご紹介します。【家庭科 黒瀬貴子】

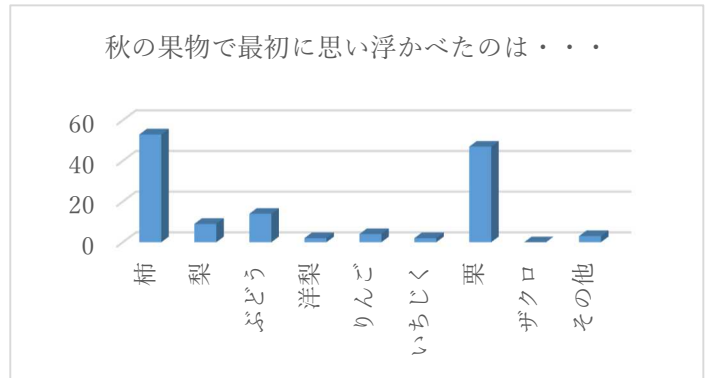
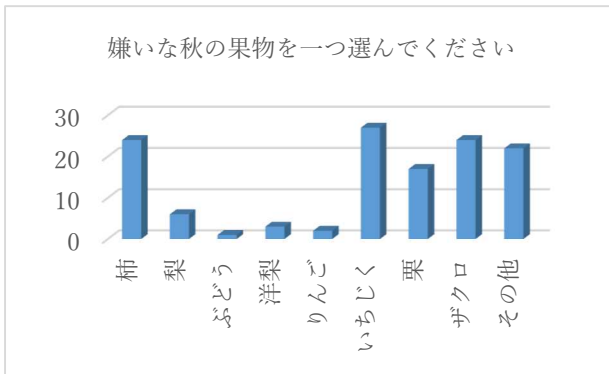
柿のコンフィチュール(ジャム)

材料

- 種無し柿 大きめの1つ
- 砂糖 小さじ2
- レモン汁 小さじ1
- ブレンダー 小さじ1
- バター(無塩) 10g
- シナモンパウダー 小さじ1

作り方

- 1 柿の皮をむいて、1cm各程度に細かく刻む。
 - 2 鍋に柿を入れ、レモン汁を加えてに火にかける。ブレンダーも入れる。
 - 3 加熱しながら、少し食感を残す程度つぶす。
 - 4 砂糖とバターを入れ、よく混ぜる。
 - 5 シナモンパウダーをお好みで入れる。
- *個人的にはたっぷり大さじ1くらい入れても平気なくらいです。



少しずつ寒くなり、冬が近づいてきているなど感じます。いつの間にかすっかりと秋ですね。

秋といえば美味しい食べ物が多いですが、私からは芸術の秋。音楽の秋を。

「オーケストラの魔術師」とも呼ばれ、フランスを代表する作曲家、モーリス・ラヴェルの作曲したピアノ連弾曲（1台のピアノを2人で弾く） 「マ・メール・ロワ」をご紹介します。

「マ・メール・ロワ」は、5つの曲で構成されています。「眠りの森の美女のパヴァーヌ」、「親指小僧」、「パゴダの女王レドロネット」、「美女と野獣の対話」、「妖精の園」。タイトルからもわかるとおり、おとぎ話が引用されています。

そのどれも、子どもがワクワクするものばかり。ラヴェルはそれらのおとぎの世界を、見事にピアノ曲として創り上げたのです。ラヴェルはこの曲で自分の子ども時代のポエジーを描きたかったという言葉を残しています。自分の中に奥深くしまっている子ども心を、優しさをもって描いた「マ・メール・ロワ」。そこにはラヴェルの純粋な子ども心が映し出されています。

YouTubeにもたくさんの方が演奏動画をアップされていますので、ピアノで贈るファンタジーの世界を是非体験してみてください。



【音楽科 池永健二】

進路決定に向けて

11月4日からの進路予備面談を控え、3年生の毎日の学校生活は、自らの進路決定に向けて緊張感が増してきました。進路予備面談に向けて「第3回進路希望調査」を行いました。10月26日が提出メ切でしたので、集計結果は掲載できませんが、7月に行った「第2回進路希望調査」に比べ、具体的な高校名が多く挙がっています。進路予備面談では、この希望調査をもとに具体的な受験(受検)校を絞っていきます。進路予備面談が終わると、右のスケジュールのように2学期期末試験、成績個票配布、進路面談、面接シートの完成・・・と目まぐるしく時間が過ぎていきます。

11月予定	
11月4日～ 11月9日	進路予備面談
11月15日～ 11月17日	二学期期末試験
11月26日	3年生成績個票配布
11月29日	第4回進路希望調査
12月予定	
12月2日～ 12月8日	進路面談
～12月23日	面接シート完成

進路面談では私立学校の受験校決定を行います。12月までには、推薦・専願・併願に関わらず、どの私立学校の、どのコースを受験するのか、決定しなければなりません。神奈川県内や東京都内の多くの私立高校では、入試の点数だけで合否を判断するのではなく、中学校の成績(いわゆる“内申点”)を基準とした選抜システムをとっています。私立高校を受験するには、まず各私立高校が示している成績の基準に達していなければなりません。基準に達していれば、その学校を受験することが可能になります。その確認を行う場が、【進路相談】です。中学校と私立高校で、生徒が受験することができるか、相談を行います。高校から、受験の準備を進めるよう返答があれば、生徒にその旨を伝え、受験することができるようになります。各私立高校の示す成績の基準は、10月以降の学校説明会へ行くと、詳細を知ることができます。加えて、学校説明会では、主にその学校の特色の説明があったり、実際に施設を見ることができたりと、進路先決定に向けての重要な情報がたくさん得られます。今年度はコロナウィルス感染症の影響で、説明会への参加もなかなか難しい状況ではありますが、積極的に参加して情報を集め、主体的な進路選択に向けて舵を切ってほしいと思います。

公立高校にも様々な種類がありますが、多くの生徒が【共通選抜】という選抜方式で受検します。本年度は2月15日～18日に行われます。共通選抜では、調査書の評定を用いる【第1次選考】で定員の90%を選考します。加えて、その合格者を除いた者を対象に、調査書の評定を用いない【第2次選考】を行い、残りの10%を選考します。

- ・調査書の評定 (A) 135(2年生の評定45点満点+3年生の評定45点満点×2) → (a)
 - ・学力検査の得点 (B) 500(各教科100点満点の試験×5教科) → (b)
 - ・面接の結果 (C) 100 → (c)
- それぞれの点数(A)・(B)・(C)を100点満点に換算し、(a)・(b)・(c)それに各学校の定めた数値 f・g・hをかけて1000点満点にします。

公立高校の多くは、 $(a) \times 4 + (b) \times 4 + (c) \times 2$ の比率を採用しています。

公立学校も、私立学校どちらを選ぶにしても、まずは学校の特徴を知り、そして何よりも自分を知ることが大切です。その学校に入学して、自分が何を目指し、どんな学校生活を送るのか、イメージをわかせてよりよい進路決定を行っていきましょう。また、希望する学校に進学できるよう、日々の学習に一生懸命取り組みましょう。

【進路担当 松浦和輝】

菅田中学校美術室前廊下から

合唱コンクールでのクラス合唱ステンドグラスを体育館に飾ることができなくなって2年目の秋です。

毎年の掲示を楽しみにしていた美術部員は、残念な気持ちを抱えながら各自の作品づくりに励んでいます。それらの作品は美術室の前に展示しています。

実は今、美術室前の廊下は小さな文化祭のような雰囲気になっています。11月8日までの区内の美術科巡回展の展示をはじめとして、菅田中学校の優秀作品を展示しています。生徒達の授業への取組の刺激になっているようです。来校する機会があれば、見ていただきたいです。



また、少し先になりますが11月30日～12月5日まで神奈川県民ホールで神奈川県中学校美術展、令和4年1月26日～30日まで横浜市民ギャラリーで横浜市総合文化祭が開催されます。県内・市内の優秀作品が展示されます。本校からも出品予定です。ぜひ、ご覧ください。 【美術科 鳥塚恵美】

11月予定表

完全下校 17:00

日にち	曜日	校時	昼食	行事
1	月	5	○	学習診断 総下校14:50
2	火	6	○	
3	水			文化の日
4	木	5	○	3年進路予備面談（昼食なし）
5	金	6	○	3年進路予備面談（昼食なし）
6	土			
7	日			
8	月	6	○	3年進路予備面談（昼食なし） 放課後学び舎
9	火	6	○	3年進路予備面談（昼食なし）
10	水	5	○	各種委員会
11	木	6	○	テスト前質問
12	金	5	○	テスト前質問
13	土			
14	日			
15	月	3	×	2学期期末試験
16	火	3	×	2学期期末試験
17	水	3	×	2学期期末試験
18	木	5	○	特別委員会 総下校14:55
19	金	6	○	代議員会
20	土			
21	日			
22	月	6	○	放課後学び舎 総下校15:55
23	火			勤労感謝の日
24	水	5	○	ゴミ調査（放送）
25	木	5	○	
26	金	6	○	
27	土			
28	日			
29	月	6	○	放課後学び舎 総下校15:55
30	火	6	○	本部役員選挙

〈12月の主な予定〉

12月2、3、6、7、8日 3年進路面談 12月14、15、16、17、20日 1、2年三者面談
12月24日 2学期終業式